

株主の皆さまへ

株主の皆さまにおかれましては、平素よりJR東日本グループの経営に格別のご高配を賜り、心より御礼申し上げます。

第2四半期におきまして、当社グループは安全・安定輸送およびサービス品質の確保をベースに、総力を挙げて増収とコストダウンに取り組んだものの、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受け、全ての利益で赤字決算となりました。また、お客さまのご利用の回復が当初の想定よりも遅れる見込みであることから、通期業績予想も赤字へと下方修正をいたしました。この状況を厳粛に受け止め、下期以降に向けて、あらためて最大限の危機感をもって努力を重ねてまいる所存です。

今後、お客さまのご利用は着実に回復していくと想定していますが、ライフスタイルの変容により、その水準は感染症拡大以前には戻らないと考えられます。こうした厳しい経営環境を乗り越えるべく、社員一人ひとりが、グループ経営ビジョン「変革 2027」で示した方針のレベルとスピードを上げ、収益力の向上と構造改革に全力で取り組んでまいります。

具体的には、経営のトッププライオリティである「安全」を前提に信頼を高め、私たちの強みであるリアルなネットワークとデジタルやSuicaを掛け合わせ、新しい暮らしの提案や新領域への挑戦に取り組みます。また、お客さまに寄り添った「ヒト起点」の発想で鉄道を中心としたビジネスモデルを変革するとともに、柔軟で強固な経営体質を作り上げます。さらに、「ゼロカーボン・チャレンジ2050」やローカルDX、地方創生の推進など、「ESG経営」の実践を通じて、SDGsの達成に取り組んでまいります。

当期の中間配当につきましては、第2四半期決算の状況等を踏まえ、一株につき50円といたしました。中長期的に総還元性向40%、配当性向30%をめざす方向に変わりはなく、当社グループ一体となり、業績回復をめざしてまいります。

これからも、お客さまや地域の皆さまのご期待に応えることにより、サステナブルに社会の発展に貢献する企業グループとして、株主の皆さまのご負託に応えてまいりますので、何とぞ一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2021年(令和3年)11月

代表取締役社長

深澤 祐二

